

中期経営計画

(2015年5月11日発表)

USHIO

ウシオ電機株式会社

〈免責事項〉本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

2017年度（2018年3月期）達成目標

ROE 8%以上

売上高 2,200億円 営業利益 180億円 営業利益率 8.2%
(2019年度達成目標 ROE10%)

目次

1.中期経営計画の背景

2.中期経営計画概要

- a.事業体質の改善
- b.金融資産の事業資産化
- c.株主還元の強化

3.事業別中期経営計画

- a.サブセグメント別売上高
(全社営業利益・営業利益率・ROE)
- b.装置事業 (b-1.映像装置 b-2.光学装置)
- c.光源事業
- d.バイオメディカル事業

1.中期経営計画の背景

課題

- ①開発投資に対するリターンの低下
- ②新規成長ドライバの欠如



現状

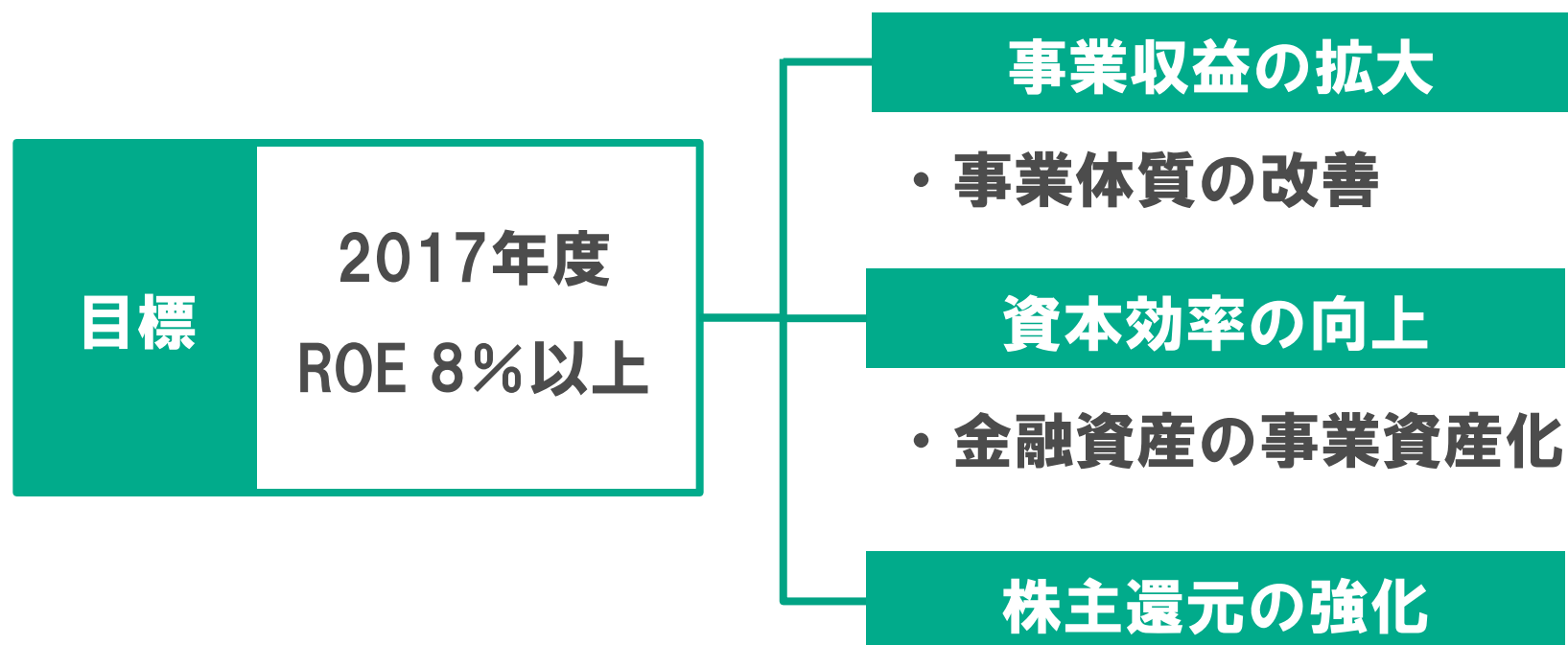
収益性の低下
(ROE<市場期待、PBR1.0倍割れ)



計画

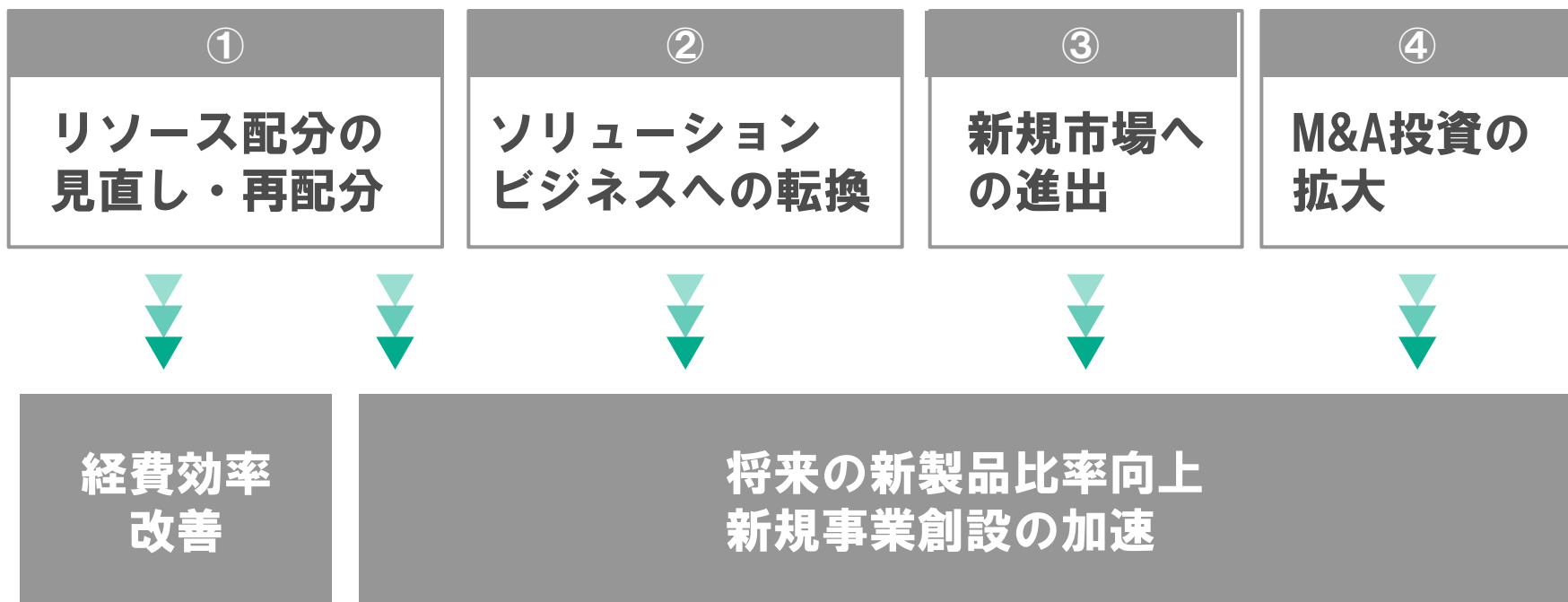
ROE重視の経営
(目標：2017年度 ROE8%以上)

2.中期経営計画概要



2.中期経営計画概要 a.事業体質の改善

事業体質の改善



事業収益の拡大

2.中期経営計画概要 b.金融資産の事業資産化

課題

金融資産が総資産の約半分を占めるまでに増加していることから、資本効率が悪化し、ROE低迷の要因の一つとなっている



金融資産の事業資産化を加速



資本の効率化

将来

金融資産の財務収益依存から脱却し、
真の事業利益から安定したROEの維持を目指す

株主還元の強化

①

安定配当方針継続

②

自己株買い
より積極的、機動的に実施

5/11
自己株式買入発表
20億円、120万株

5/11
役員向け株式報酬
制度の導入

3.事業別中期経営計画 a.サブセグメント別売上高（全社営業利益・営業利益率・ROE）

セグメント	サブセグメント	当年度	1年目	3年目	3年間の増減 (FY17-FY14)		CAGR
		FY14	FY15	FY17	(億円)	(%)	(%)
		(実績)	(計画)	(計画)			
装置事業	映像装置	603	750	930	327	54	16
	光学装置	212	245	360	148	70	19
	照明装置	23	20	30	7	30	9
	小計	840	1,015	1,320	480	57	16
光源事業	放電ランプ (固体光源含む)	576	620	700	124	22	7
	ハロゲンランプ	142	140	150	8	6	2
	小計	719	760	850	131	18	6
その他	産業機械・他	33	25	30	▲3	▲9	-
合計		1,593	1,800	2,200	607	38	11
全社	営業利益(億円)	103	130	180	76	74	20
	営業利益率(%)	6.5	7.2	8.2	1.7p	-	-
	ROE(%)	5.6	5.7	8.0以上	2.4p	-	-

為替前提：1US\$ = 120円 1EURO = 138円

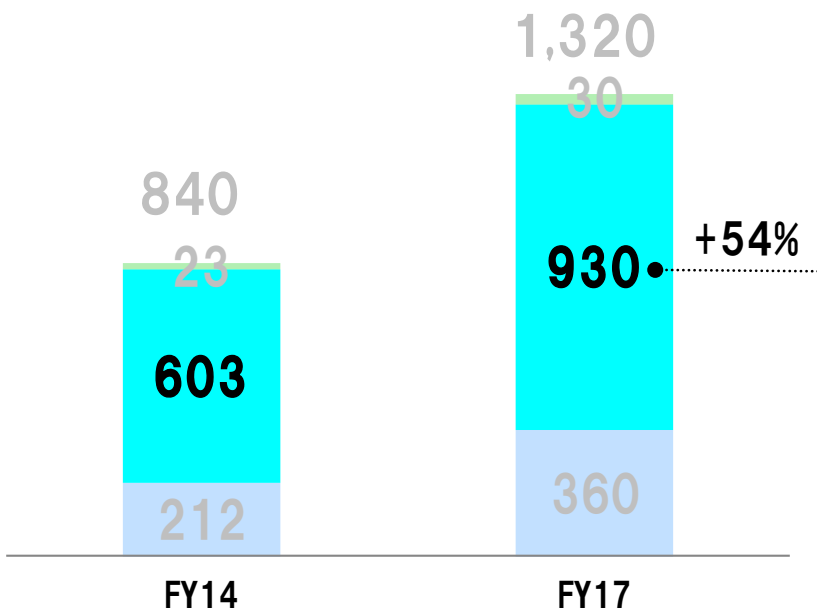
3.事業別中期経営計画 b.装置事業 b-1.映像装置

トータルソリューションビジネスの拡大

目標

FY2017

施策



売上高

930億円 (+54%)

営業利益率

5%以上
(装置事業全体)

年率10%の成長目指す

成長分野での投資機会増加
更なるグローバル展開

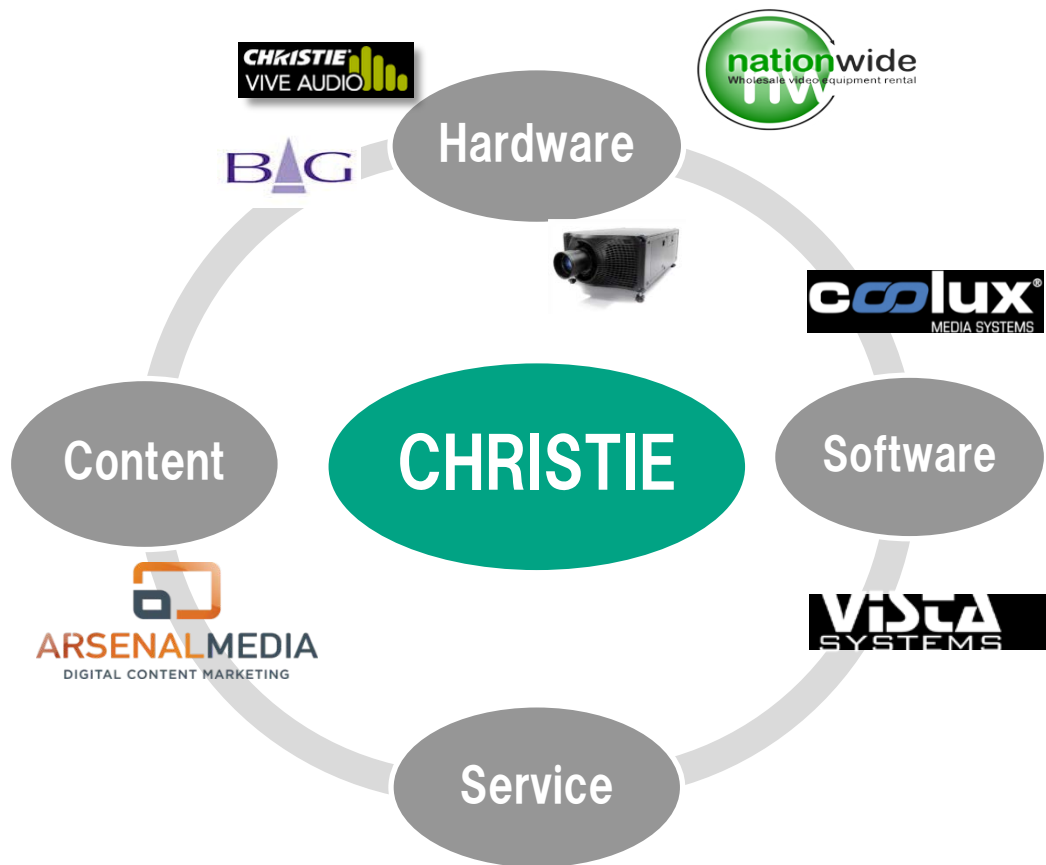
収益性維持→再飛躍へ

ソリューションビジネス拡大
更新需要の確実な取り込み

USHIO

映像画像事業を取り巻くトータルソリューション

Christieグループの関連図



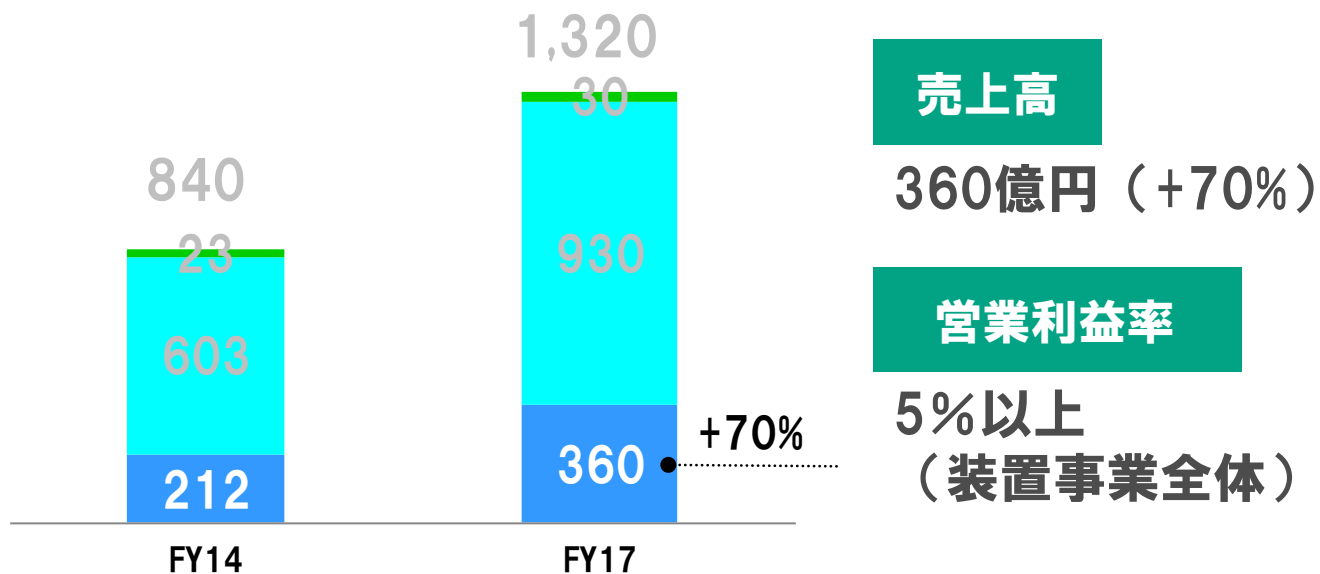
事例



目標

FY2017

経常的な黒字化を目指した構造改革



施策

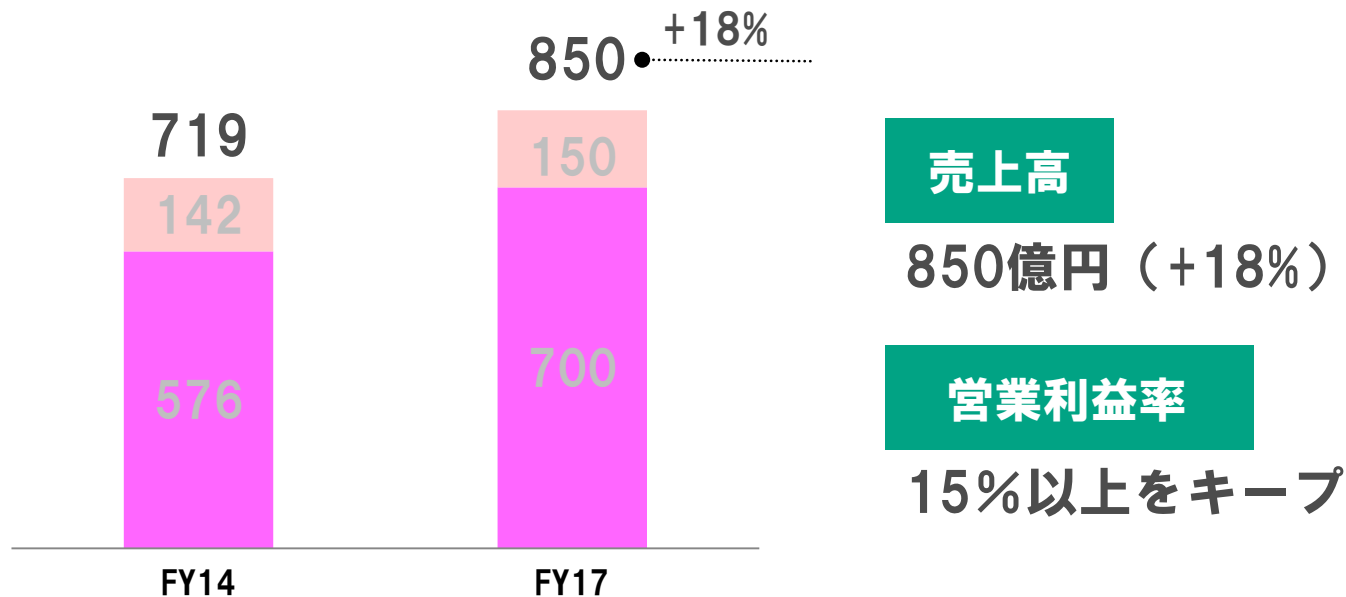
グループ戦略の見直し
(アドテックエンジニアリングとの関係強化)

3.事業別中期経営計画 c.光源事業

「持続的成長」と「収益性の維持」

目標

FY2017



施策

ソリューションビジネスを展開

- ▶ 新規分野・・・成長市場へ積極的に参入
- ▶ 既存分野・・・シェア維持

3.事業別中期経営計画 c.光源事業

光源事業の主な「成長市場」

ライフサイエンス分野

環境、ヘルスケア、エネルギーなど
(測定・分析、植物育成、水処理、空間処理など)

例1 水処理

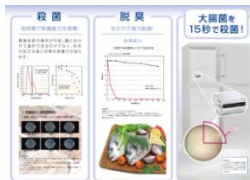


飲料工場での水殺菌

目的：水中の微生物・菌を紫外線で死滅、汚れの浄化

効果：水の再利用、環境維持

例2 食品殺菌



目的：食品の微生物・菌を紫外線で死滅

効果：食品の安全性維持

例3 センサー吸光度

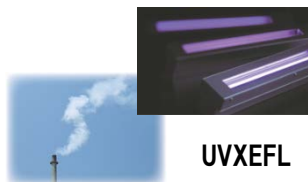


目的：対象物への菌や汚れの付着を測定

効果：衛生・安全性確認

吸光度センサ (PAS)
/レーザー励起蛍光センサ (LIF)

例4 脱硝・脱臭



脱硝イメージ

目的：空間スペースの脱硝・脱臭

効果：脱硝・脱臭

UVXEFL

自動車分野

ヘッドアップディスプレイ、加熱用途など



ヘッドアップディスプレイ

USHIO

方針

第三の柱となる事業とすべく投資を継続

施策

- ・ 既存製品の販売拡大
- ・ M&Aの促進
- ・ 開発投資効率の改善
- ・ グループ戦略の見直し



セラビームUV308



ポイントリーダー



セラビーム スーパーオッセオ



ペインビューアー

USHIO